

平成28年度 門川町立門川小学校 自己評価書

学校の教育目標「自ら学び 心豊かに たくましく生きる 子どもの育成」

重点目標〔 1 基礎学力の定着 2 基本的な学習習慣の定着 3 読書活動の推進 4 基本的な生活習慣の定着 5 学校・家庭・地域が連携した教育の推進 〕

【 4段階評価： 4～期待以上 3～ほぼ期待通り 2～やや期待を下回る 1～改善を要する 】

重点目標	目標達成のための手段(評価指標)	具体的な取組・手立て	数値目標等		分析・考察・改善策等
			評価指標	定 総合	
1 基礎学力の定着	(1) 分かる・できる授業の充実	① 特別支援教育の視点を取り入れた学習環境や授業づくりの推進 ----- ② 「かどがわ5段階授業モデル」の確実な実施	* CRT (標準学力検査) ・平均得点率の全国平均との差(点) [目標値]国語±0・算数±0 H28:国語△-2.8・算数△-0.4(H27:国-3.0・算-2.6) ・評定1出現率(%) [目標値]国語10.0%以内・算数10.0%以内 H28:国語△11.5%・算数△13.0% (H27:国12.7%・算15.5%)	2	○ これまでの授業改善や補充指導の取組等により、CRTにおいては、目標値までには至らなかったものの、国語・算数ともに成果が出始めてきている。また、下位層の割合も減少傾向にある。これまでの取組を今後も継続するとともに、内容の充実を図っていく。 △ 授業における学習態度指導の徹底及び家庭学習の習慣化と内容の充実については、一層の定着を目指して、今後も重視しながら取り組んでいく。
	(2) 学習内容の定着を図るための補充指導の充実	① 「パワーアップタイム」における補充指導の充実 ----- ② 学期末補充学習・「サマースクール」の充実	◇ パワーアップタイムにおける複数の教員による指導 進級式算数の問題の整備 ----- ◇ 1学級における複数の教員による指導 門川高校生のミニ先生としての参加	3	
2 基本的な学習習慣の定着	(3) 基本的な学習習慣の定着	① 授業における学習態度指導の徹底(聞く態度、姿勢、学習の準備)	* 児童自己評価「ほぼ毎時間しっかり聞いている」 [目標値]95%以上 → H28:△92.4%(H27:93.4%)	2	
		② 家庭学習の習慣化と内容の充実	* 児童自己評価「宿題・宅習:ほぼ毎日提出している」 [目標値]95%以上 → H28:△93.4%(H27:91.9%)		
3 読書活動の推進	(4) 読書活動の推進	① 学校における読書活動の充実 ----- ② 家庭における読書の推進	* 1か月の読書冊数[目標値]20冊以上 H28:○22.3冊(H27:18.6冊) * 1年間の年間貸出冊数[目標値]30冊以上 H28:△26.6冊(H27:27.7冊)	2	2 △ 委員会等で読書の働きかけを行ってきたことで、読書冊数は増えてきたものの、図書室の利用はさらに推進する必要がある。
		4 基本的な生活習慣の定着	(5) 学校における基本的な生活習慣の定着	① 率先あいさつ・廊下歩行・整とん・無言清掃の指導の徹底	* 児童自己評価「ほぼしっかりとやっている」[目標値]85%以上 ・あいさつ:△84.6%・ろう下歩行:△80.3% ・無言清掃:△79.7%・整とん(くつ箱):○94.9% ・整とん(トイレスリッパ):△83.6%
5 学校・家庭・地域が連携した教育の推進	(6) 家庭における基本的な生活習慣の定着		① 家庭との連携による取組の推進 メディアコントロール・睡眠時間の確保(早起・早寝)・望ましい食生活習慣(献)	◇ 学力向上に係るPTA教育講演会の開催(水永氏) ◇ 生活リズムカードの配付・回収	2
	(7) 家庭における共通実践事項の取組の推進	① 家庭における共通実践事項の取組の推進～子どもの成長を支え育む“かどがわ4か条”～ ----- ② PTA活動のとの連携による取組の推進(ラジオ体操の推進、教育講演会の開催等)	* 家庭における共通実践事項の家庭自己評価 ・メディアに関する約束の設定「設定している」 [目標値]全校90%以上 → △70.2%(H27:66.3%) ・家庭学習の見守りの実践「いつも・時々確認する」 [目標値]全校90%以上 → △88.6%(H27:85.2%) ・家読の時間の設定「設定(週3～月1)している」 [目標値]全校70%以上 → △55.1%(H27:57.5%)		
校長所見	本年度は、昨年度の取組を継承しつつ、その内容の改善に努めてきた。少しずつではあるが、それが結果として出始めてきているように感じる。本年度の反省を踏まえ、来年度もより一層の指導の徹底と家庭との連携の充実に努めていきたい。				